

## 課題研究の評価用ルーブリック

\* 各内容の終わりに自己評価をします。

観点/評定	1	2	3	4
探究課題と仮説	課題の設定が表面的で恣意的であり、仮説を立てられない。	教員の支援をうけて課題を設定し、課題に対する自分なりの仮説を立てている。	自ら課題を設定し、課題に対する自分なりの仮説を立てている。	社会的に重要な課題を設定し、先行研究を踏まえて課題の意義を明確化している。
研究計画書の作成	探究課題や仮説をもとに研究計画をうまくたてることができず、教員の支援がかなり必要である。	探究課題や仮説をもとに研究計画をたてるが、研究目的や研究手法が曖昧だったり具体性に欠ける。教員の勧めで加筆・修正する。	探究課題や仮説をもとに自ら研究計画をたてることができる。研究目的や研究手法が妥当である。	緻密な研究計画を立て、研究目的や研究手法も具体的で的を射ている。高校生としては研究を見通した十分な計画を立てることができている。
資料やデータ収集	教員が勧めた概説書を読むのみで、自発的に文献を収集できない。資料・データの収集に不備がある。	教員の勧めで文献を収集している。資料・データ収集とその実施に一貫性が見られない。	より専門的な文献を収集し、先行研究等で挙げられる情報や枠組みを参考に、調査を実施している。	先行研究や文献を収集し、そこに挙げられる文献や調査法を参考に、より多くの資料・データを収集するための、高校生なりに創造性のある調査を実施している。
資料の分析	資料・データから必要な部分を選択できない。資料の読解が単なる読書程度で、解釈に恣意的な点が見られ、妥当性に欠けている。	資料・データの精選が恣意的である。教員の援助で資料等を解釈するが結論を見据えた解釈を生み出せない。教員の指示で収集した資料等を表現している。	必要な資料・データを精選し分析を行っている。また得られた資料等を課題に応じ、結論を意識して、適切な図に表している。	必要な資料・データを精選し先行研究を踏まえて自律的に分析を行っている。また得られた資料等を適切な図表に表し、それを活かして自らの解釈の妥当性を検証している。
論理的な文章の構成	主張や根拠の結びつきに誤りを含んでいたり、論理が飛躍することがある。主張が恣意的なものになっており、信頼を得にくい。	概ね正しい主張や証拠を含んでいるが、考察が曖昧で論理性を欠くところがある。教員の指示をもとに論拠のある主張を形成している。	教員の助言のもとで研究結果に基づいて、概ね論理的かつ客観的に考察を構成し、自らの主張を行っている。	研究の結果に基づき、客観的な考察を行っている。主張を裏付ける根拠を明確に持って、自らの考察を深め、一貫性のある主張を形成している。
研究成果の発表	発表の際に、必要なことを伝えず、研究の概要を羅列的に説明する。聞き手を想定せず、適切な答えを返すことができない。	研究全体を通して明らかになったことを発表している。発表全体を通して補うべき情報が不足する。聞き手の質問に対して応答できるが、曖昧さが残る。	研究全体を通して明らかになったことを発表している。聞き手を意識する工夫が見られ、質問に対して概ね適切に答えている。	研究の結果から発表に必要な要素を取捨選択し、研究成果を適切に説明している。聞き手を意識し、他者の意見から学び自分の意見を修正したり論拠をもとに反論できる。